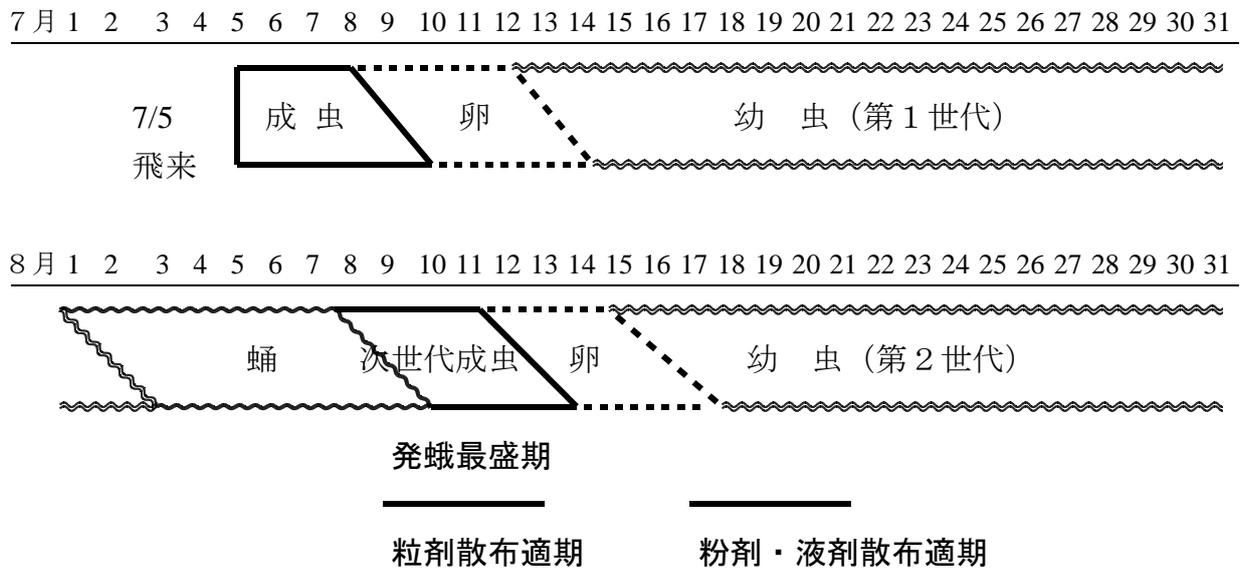


★★★★☆コブノメイガ情報★★★★☆

平成19年7月31日付
島根県病害虫防除所

★コブノメイガ：7月4～6日に主飛来を確認しました。近年ではやや多い飛来量で、圃場の白変葉が県下全域で見られます。現在、終齢幼虫期～蛹期です。

平年値を用いた有効積算温度計算から7月5日（多飛来）飛来群の発生予測パターンを作成しました（JPP-NET病害虫発生予測システム）。各地域における発生消長の把握及び防除時期・防除要否の参考としてください。



①コブノメイガの防除適期：

- ・粉剤・液剤は発蛾最盛期の7日後に散布します。
- ・粒剤は発蛾最盛期に散布します。

②発蛾最盛期が穂揃い期以降になる場合は、産卵の減少、幼虫生存率の低下など次世代の発生が低くなるため、防除の必要はありません。しかし、5月下旬植のコシヒカリ・きぬむすめ等ではコブノメイガ次世代の発生が多くなることが予測されるので注意を要します。

③本年は水稻の生育が全般に遅れているため、今後の気象、生育状況に注意が必要です。

(注) 7月30日以降の気温が平年と大きく異なった場合は、本予測パターンと異なることがあります。